学校だより No.19　令和６年２月９日

かさはら

≪学校教育目標≫　仲間と協力しながら学び，自ら考え行動できる児童の育成

≪学校組織目標≫　「分かる」「できる」を味わえる場をつくる

笠原小 HP

第４回学校運営協議会（２/７）

２月７日（水）に，今年度最後となる第４回学校運営協議会を開催しました。特に，第２学期の学校アンケートの結果や学校・家庭・地域の課題解決について協議していただきました。

≪学校アンケートから≫

① 教職員：「地域の人材を有効に活用しているよう努めている」の評価が低い。人材バンク制度の活用を図ったり，地域（自治連・高齢者クラブ等）との連携を生かしたりしながら改善を進めていくべきである。

② 教職員：「学習の展開を工夫し児童に『分かった』『できた』を味わえるような指導に努めている」また児童：「学校生活の中で『分かった・できた』を感じられましたか」について高評価となっている。今年度の学校組織目標が浸透している結果と捉えることができる。さらに，そのことが児童「学校生活は楽しい」（はい 76%）につながっていると思われる。

③ 児童：「進んで本を読むことができましたか」また保護者：「お子様は家でよく読書をしている」の評価が，他の項目に比べて低い。読書は思考力・表現力や豊かな心の育成にもつながるものである。今後も，読み聞かせボランティア（きらきら）の積極的な活用を図るとともに，意図的な読書の時間の確保や読書の楽しさを味わえる取組を工夫していくべきである。

④ 校則（文房具・体操服の生地・登下校の服装等）については，保護者の意見も参考にし，児童の安全性や機能性を検討しながら，柔軟な改善を図っていくべきである。

≪協議≫「登下校時の学校への車の乗り入れと近隣商業施設への駐車」について

・登下校時の学校敷地内への乗り入れについては，保護者の皆様のご協力により大きく改善されている。

・下校時については，日常的に近隣の商業施設への無断駐車に関する情報提供が多い。今年度の運動会の際には，PTA 役員による立哨を行いトラブルを避けることができたが，日常的な問題に関しては継続した協力依頼を発信するとともに，新たな改善策を打ち出すことが必要である。PTA 等と改めて協議をしていく。

水戸市いっせい防災訓練及びプラスワン訓練（2/8）

≪水戸市いっせい防災訓練≫

≪ギュッと！おにぎりの日≫

「おにぎり」を通して，飽食の時代のありがたさや防災について考える機会となったとともに，温かみのある「おにぎり」のおいしさを改めて味わうことになったと思います。

≪原子力事故を想定した避難訓練と引き渡し訓練≫

「水戸市いっせい防災訓練及びプラスワン訓練」」の一環として，本校では，「原子力事故を想定した避難訓練と引き渡し訓練」を行いました。

「原子力事故による緊急避難を想定し，緊急時における行動様式を身に付けること」，また「緊急避難時に児童を安全かつスムーズに保護者へ引き渡しを行う方法を確認する」ことをねらいとしたものです。

緊急避難時の「お・か・し・も」の確認や，災害の種類により避難方法が異なることなどを学ぶことをとおして，命を守る行動様式を身に付ける機会となりました。

保護者の皆様には，お忙しい中，引き渡しへのご協力をいただき，ありがとうございました。